

BLUEDOT®

9インチワイドTFTモニター
ポータブルDVDプレーヤー
BDP-1930
取扱説明書



BLUEDOT株式会社

はじめに

このたびはお買い上げいただきましてありがとうございました。
始めにこの説明書をよくお読みいただき、正しく安全にお使いください。
また、お読みになった後はいつでも見られるよう、大切に保管してください。

本機の特徴

1. 高解像度

本機はMPEG2コーディングフォーマットを採用し、500本以上の水平解像度を実現しています。

2. ユニークな機能

マルチアングルおよび多言語により、他に類の無い特徴的な機能を実現しています。
視聴制限機能(親による管理)により、ディスクの再生を制限することができます。

3. ズーム

ピクチャをオリジナルサイズの2倍、3倍、4倍に拡大できます。
また、ピクチャのサイズを 1/2、1/3、1/4 に縮小できます。

4. 多機能

早送り、巻き戻し、スロー再生、フレーム再生、リピート再生、プログラム再生。

5. タイムサーチ

ディスクの特定部分を探せるので、特にアクション映画を見るのに便利です。

6. 内容表示

9インチワイドのTFT LCDと日本語/英語OSD(オン・スクリーン・ディスプレイ)により、ディスク内容はより明確になります。

7. オーディオ出力

アナログオーディオ出力とデジタルオーディオ出力をアンプに接続できるので、高品質のサウンド効果が楽しめます。

8. 美しい映像と音楽

TFTカラー LCD、充電バッテリー、ヘッドホン出力などにより、きれいな映像と美しい音楽を楽しむことができます。

エムベグ

9. MPEG4 (DivX) ファイルの再生

MPEG4とは、国際標準化機構(ISO)が策定した規格で、DVDビデオに匹敵する高画質映像を高い圧縮率で記録できる規格です。

本機は拡張子“.avi”で記録されたMPEG4画像を再生することができます。その代表的なファイルがDivXと呼ばれるファイル形式です。

10. MMCカード、SDカード、メモリースティックの再生

本機で MMCカード、SDカード、またはメモリースティックの再生ができます。

はじめに	2	DVDダイジェスト再生	21
本機の特徴	2	CDダイジェスト再生	22
もくじ	3	オーディオモードの切換	22
安全にお使いいただくために	4	数字ボタンで直接選択する	22
お使いになる前に	7	DVDのメニュー再生	22
本機で再生できるディスク	8	タイムサーチ機能	23
本機で再生できるリージョンコード(地域番号) ..	8	OSD(オン・スクリーン・ディスプレイ)を	
用語の説明	8	使った操作	24
各部の名前	9	基本操作	24
本体	9	タイトルを選ぶ	25
リモコン	10	チャプターを選ぶ	25
外部機器と接続するとき	11	オーディオを選ぶ	26
テレビと接続する	11	字幕言語(サブタイトル)を選ぶ	26
テレビとオーディオアンプを接続する	11	カメラアングルを選ぶ	27
コアキシャル音声接続や、Sビデオ、コンポーネント		リピート再生をする	27
(プログレッシブスキャン)接続をする	12	CDのトラックを選ぶ	28
外部の映像や、音声を本機で再生する	12	オーディオモードの切換	28
電源の準備	13	CDのリピート再生をする	29
電源の接続	13	初期設定を変更する	30
バッテリーパックを充電する	14	設定内容の説明	30
リモコンの使いかた	15	全般設定をする	33
基本的な使いかた	16	オーディオの設定をする	33
いろいろな再生をする	17	基本設定をする	34
高速再生(サーチ)	17	パスワードモードを設定する	34
スロー再生	17	パスワードを変更する	35
字幕(サブタイトル)を切り換える	17	MP3/MPEG4(.aviファイルのみ)ディスクの	
飛び越し再生(スキップ)	17	再生をする	36
音声言語を切り換える	17	メニュー画面から選んで再生する	36
繰り返し再生(リピート)	18	色々な再生	36
区間リピート再生	18	メモリーカードの再生をする	37
ストップアンドリジューム再生	18	再生の準備	37
ブックマーク再生	19	メモリーカードの再生を始める	37
アングル(撮影角度)を選択する	19	色々な再生	37
ズーム再生をする	19	液晶画面の調整をする	38
プログラム再生	20	故障と思われる症状ですが	39
順不同に再生する	21	技術仕様	41

付属品

本機には下記の付属品が、添付されています。

梱包を開けて、すべての付属品があるか点検してください。

・オーディオ・ビデオケーブル	1	・保証書	1
・Sビデオケーブル	1	・ACアダプター	1
・コンポーネントビデオケーブル	1	・充電バッテリーパック	1
・リモコン	1	・カーバッテリーアダプター	1
・取扱説明書	1		

安全にお使いいただくために

ご使用の前にこの「安全にお使いいただくために」を良くお読みください。

製品を安全に正しくお使い頂く為に、いろいろな絵表示をしています。

その表示と意味は次のようになっています。



警告

人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

人がけがをしたり、損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



記号は、注意 をしなければならない内容を表しています。



記号は、禁止される行為を表しています。



記号は、行わなければならないことを表しています。



警告



プラグを
抜く

異常な状態が見つかったら

万一、煙が出たり、変なおいや音がするなどの異常が見つかった場合、すぐに本体の電源を切り、必ずACアダプターをコンセントから抜いてください。その上で弊社サービスセンターに修理をご依頼ください。
お客様による修理は危険ですのでおやめください。



禁止

付属のカーアダプターはDC 12V以外の電圧で使用しない。

指定の電圧以外で使用すると火災や、感電の原因となります。



ACアダプターは必ず付属品を使う。

付属以外のものを使用すると火災の原因となります。



注意

付属のACアダプターは日本国内専用です。

外国で使用することはできません。



禁止

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電の原因となります。



禁止

付属のACアダプターはAC 100 V、50/60Hz以外の電源で使用しない。

指定の電圧以外で使用すると火災や、感電の原因となります。



禁止

電源コードは破損しないようにする。

- ・上に重いものを載せない。
- ・ステーブルなどで止めない。
- ・加工したり、傷つけたり、無理に曲げたりしない。

感電や、火災の原因となります。

警告



分解禁止

ケース内部を絶対に開けない。

本体やACアダプターのケースは、はずさないでください。
火災や感電の原因となります。



接触禁止

雷がなり始めたら

ACアダプターには触れないでください。
感電の危険があります。



禁止

内部に物や水などを入れない

本体やACアダプターの開口部から内部に金属類や燃えやすいものを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災や感電の原因となります。



禁止

下記の場所に置かない。

- ・ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所。
- ・風呂場など湿気やほこりの多い場所。
- ・窓を閉めきった自動車の中、ダッシュボードの上や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所。

落下して破損したり、熱による破損、火災、感電の原因となります。



禁止

水などの入った容器の近くに置かない。

本体やACアダプターの近くに花瓶、植木鉢、コップや水などの入った容器を置かないでください。
こぼれたりして、火災、感電の原因となります。



禁止

落下した機器は使わない

・落したり、カバーやケースがこわれた場合は、まず本体の電源を切り、ACアダプターはコンセントからはずして弊社サービスセンターにご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。



禁止

布や布団でおおわない

ACアダプターや本体を、布や布団でおおったり、包んだりしないでください。熱がこもり、ケースの変形や、火災の原因となります。



禁止

車や自転車、オートバイなどの運転中は絶対にヘッドホンを使用しない。

重大な事故の原因となります。



分解禁止

改造や、指定の技術者以外の人が修理をしない。

破損や火災、事故の原因となります。
また、メーカーで責任を負うことができません、保証対象外となります。



注意

レーザー光線をのぞかない

本機はレーザーダイオードを使用しています。ケース本体を開けたり、取扱説明書の記載によらない操作をして、レーザー光線を直接のぞかないようにしてください。

⚠ 注意



プラグを
抜く

長時間ご使用にならないときは電源プラグを抜く。

旅行などで長期間この機器をご使用にならないときは、安全のため必ずACアダプターをコンセントから抜き、充電バッテリーを取り外してください。



禁止

電源プラグを抜くときは、コードを引っ張らない。

電源プラグを持って抜いてください。コードが破損して、火災や感電の原因となります。



移動するときは全ての接続を外す。 ACアダプター、カーアダプターなどを外してから移動してください。けがや、火災、感電の原因となります。



電池は極性表示(＋、－表示)にしたがって正しく入れる。

間違えると火災や破損、液漏れの原因となります。



禁止

指定以外の電池は使用しない。 火災や破損、液漏れの原因となります。



禁止

乾電池は絶対に充電しない。 火災や破損、液漏れの原因となります。



充電電池は指定の方法で充電する。 間違った充電をすると火災や破損、液漏れの原因となります。



禁止

電池を加熱、分解したり、火の中に入れない。

破損や破裂してけがや、火災の原因となります。



禁止

種類の違う電池や、新しい電池と古い電池を混ぜて使わない。

破損や液漏れをしてけがや、火災の原因となります。



禁止

機器の上に乗らない

お子様が機器に乗ったりしないように、ご注意ください。破損やけがの原因になります。



音量に気をつけて

電源を入れる前に、音量(ボリューム)を最小にしてください。突然大きな音が出て、聴力障害の原因になることがあります。



ヘッドホンをご使用になるときは 音量(ボリューム)を最小にしてからプラグを抜き差ししてください。突然大きな音が出て、聴力障害の原因になることがあります。



電源プラグは根元まで確実に差し込む。

ACアダプターの電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。



ディスクは回転が完全に止まってから取り外す。

けがの原因となります。



お手入れは必ずACアダプターを外して行う。

破損や、感電の原因となります。

お使いになる前に

ディスク使用上の注意

ディスクの取扱い方

ディスクを汚さないように、再生面には触れないでください。

ディスクに紙やテープを貼らないでください。



ディスクに直射日光や熱源を当てないでください。

再生後、ディスクはディスクケースに保管してください。

ディスクの掃除

再生前に、きれいな布でディスクの中心から放射状に拭いてください。



結露について

寒い場所から温かい場所へ急に移動し急激な温度変化を与えたり、本機を湿気の多い場所に置いたりすると、湿気がピックアップレンズに結露し、故障や再生不良を引き起こします。この場合、ディスクを外し、本機を約1時間オンにし、湿気を蒸発させます。

音のエチケット

楽しい音楽や、映画の音も、場合によっては気になるものです。隣り近所への配慮を十分にいたしましょう。特に静かな夜間には、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドホンをご利用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快適な生活環境を守りましょう。



ディスクの絵表示について

この説明書では下のようなマークで使用できる機能を表しています。

マーク	表示
	DVDの機能
	CDの機能

本機で再生できるディスク

下の表のディスクが再生できます。

種類	ディスクロゴ	内容	サイズ	再生時間
DVD		オーディオ+ビデオ (動画)	12cm	約2時間(片面ディスク)
				約4時間(両面ディスク)
			8cm	約80分(片面ディスク)
				約160分(両面ディスク)
CD		オーディオ	12cm	約74分
			8cm	約20分
MP3		オーディオ	12cm	約600分
DivX		オーディオ+ビデオ	12cm	録画設定による

本機で再生できるリージョンコード(地域番号)

DVDディスク及びDVD再生機器には地域ごとに割り当てられたリージョンコードが記録されています。

DVDディスクはDVD再生機器のリージョンコードと一致していないと再生できません。

日本国内のリージョンコードは“2”です。

本機のリージョンコードも“2”に設定されており、DVDのケースなどに右のマークのあるディスクが再生できます。



用語の説明

タイトル

DVDの映像または音楽は幾つかのユニットに分けてあり、その中で最大のユニットをタイトルといいます。ビデオソフトの映像ではタイトルは映画になり、オーディオソフトの1曲の音楽では、タイトルは音楽になります。DVDソフトによっては、タイトルが1つのみのディスクもあります。

チャプター

タイトルは数個のチャプターからなり、各チャプターにはサーチ用のチャプター番号が付いています。

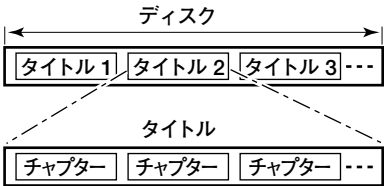
DVDソフトによっては、チャプター番号が付いていないディスクもあります。

トラック

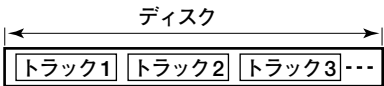
CDではディスクは複数のトラック(曲)に分けられています。各トラックにはサーチ用のトラック番号が付いています。

CDソフトによっては、トラック 番号が付いていないディスクもあります。

DVDの構造

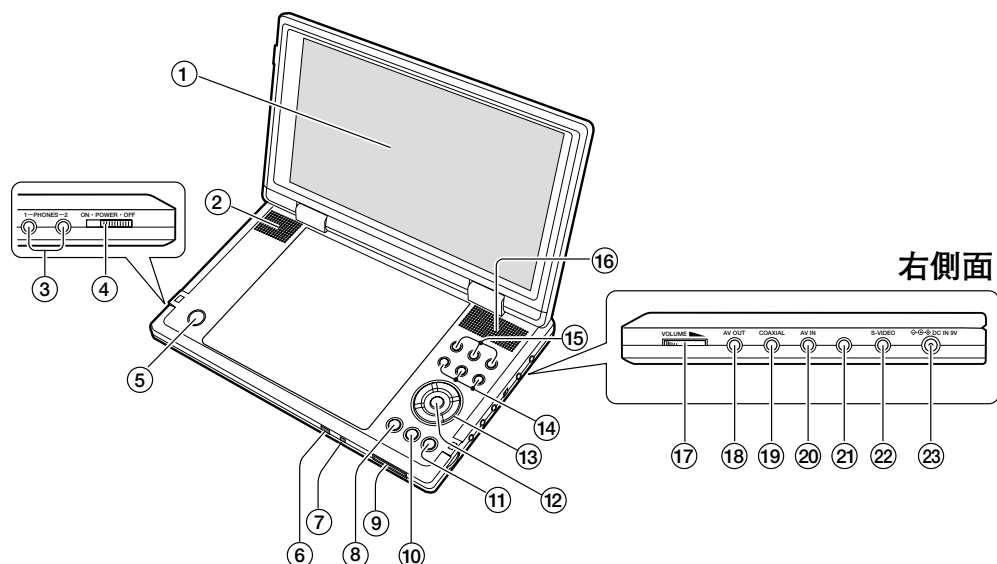


CDの構造



各部の名前

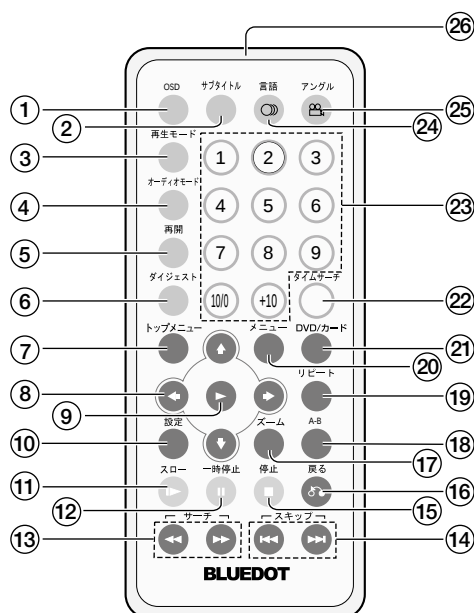
本体



- ① TFT LCD 画面表示部
- ② 左スピーカー
ホーンズ
- ③ **PHONES** (ヘッドホン) 端子
ヘッドホンは2本接続できます。
音量は**VOLUME**ツマミで調整できます。
ヘッドホンのプラグを差し込むと本機のスピーカーからの音は出なくなります。
- ④ **POWER** (電源) **ON/OFF** スイッチ
オン オフ
- ⑤ **△/OPEN** ボタン
- ⑥ リモコン受光部
- ⑦ **CHG** (充電) / **POWER ON** (電源) 表示
チャージ プレイ
- ⑧ **PLAY** (再生) ボタン
- ⑨ メモリーカード挿入口
- ⑩ **PAUSE** (一時停止) ボタン
ポーズ
- ⑪ **STOP** (停止) ボタン
ストップ
- ⑫ **ENTER** (確定) ボタン
- ⑬ 上/下/左/右方向ボタン
- ⑭ **MONITOR** ボタン
モニター
- ⑮ ***SOURCE** ボタン
ソース
CARD ボタン
メニュー
MENU ボタン
- ⑯ 右スピーカー
ボリュウム
- ⑰ **VOLUME** (音量) 調節ツマミ
アウト
- ⑱ **AV OUT** (AV出力) 端子
コアキシアル
- ⑲ **COAXIAL** 出力端子
イン
- ⑳ **AV IN** (AV入力) 端子
コンポーネント ビデオ
- ㉑ **COMPONENT VIDEO / PROGRESSIVE**
プログレッシブ
スカン 出力端子
- ㉒ **S-VIDEO** 出力端子
- ㉓ **DC IN 9V** 端子

* **SOURCE** ボタンはDVDとCOMPONENT (YPbPr、YCbCr)、CVBS、S-VIDEO 出力と外部入力を切り換えます。

リモコン

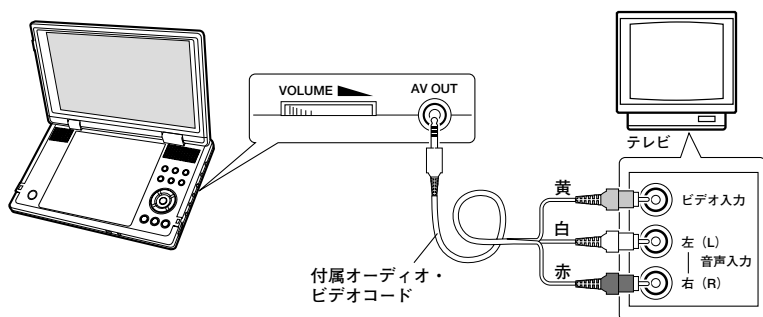


- | | |
|---------------------------|--------------------|
| ① OSD (オンスクリーンディスプレイ) ボタン | ⑭ ◀◀/▶▶ (スキップ) ボタン |
| ② サブタイトルボタン | ⑮ ■ (停止) ボタン |
| ③ 再生モードボタン | ⑯ 戻るボタン |
| ④ オーディオモードボタン | ⑰ ズームボタン |
| ⑤ 再開ボタン | ⑱ A-B リピートボタン |
| ⑥ ダイジェストボタン | ⑲ リピートボタン |
| ⑦ トップメニューボタン | ⑳ メニューボタン |
| ⑧ 上/下/左/右方向ボタン | ㉑ DVD/カード ボタン |
| ⑨ ▶ (再生) ボタン | ㉒ タイムサーチボタン |
| ⑩ 設定ボタン | ㉓ 数字ボタン |
| ⑪ スロー (低速再生) ボタン | ㉔ 言語ボタン |
| ⑫ (一時停止) ボタン | ㉕ アングルボタン |
| ⑬ ◀◀/▶▶ (サーチ) ボタン | ㉖ 送信部 |

外部機器と接続するとき

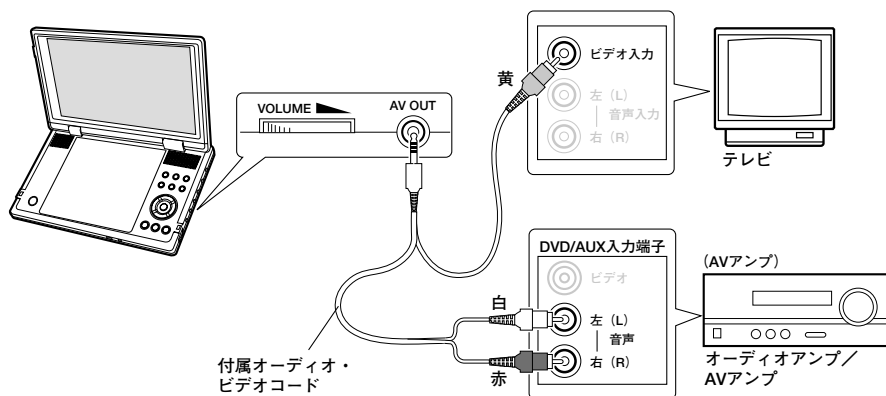
⚠ ACアダプターは全ての接続が終了してから接続してください。

テレビと接続する



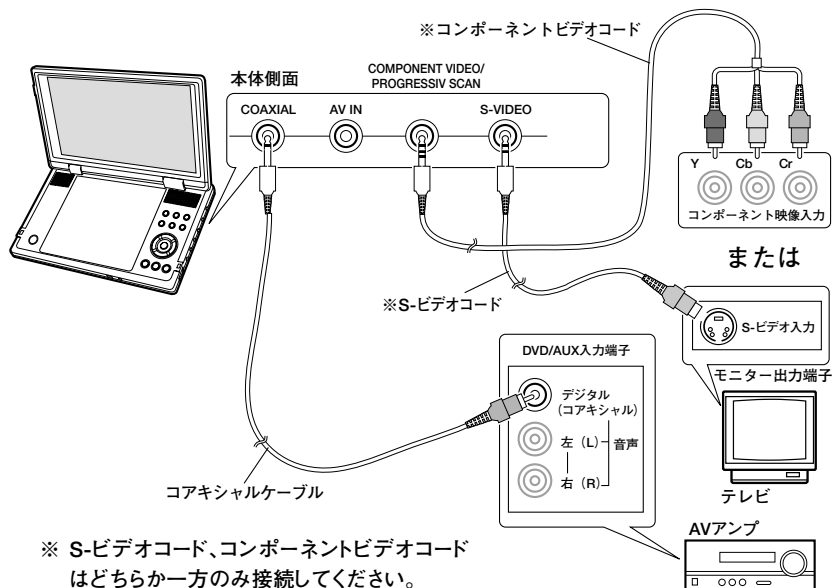
- ◆ テレビに^{ビデオ}S-VIDEO端子またはコンポーネント映像端子がある場合はS-VIDEO接続、またはコンポーネント接続をして、より高画質で楽しむことができます。
(12ページ参照)

テレビとオーディオアンプを接続する



- ◆ オーディオアンプ、AVアンプと接続する場合、付属オーディオ・ビデオコードのミニプラグを本機の^{アウト}AV OUT端子に、白いピンプラグをアンプの左音声(オーディオ)入力端子に、赤いピンプラグをアンプの右音声(オーディオ)入力端子に接続します。
付属オーディオ・ビデオコードの黄色いピンプラグをテレビのビデオ(映像)入力端子に接続します。
- ◆ アンプにコアキシャル入力端子がある場合はコアキシャルケーブルを接続することができます。(12ページ)
- ◆ アンプと他の機器との接続はアンプの説明書を参照してください。
- ◆ テレビにS-VIDEO端子またはコンポーネント映像端子がある場合はS-VIDEO接続またはコンポーネント接続をして、より高画質で楽しむことができます。(12ページ参照)

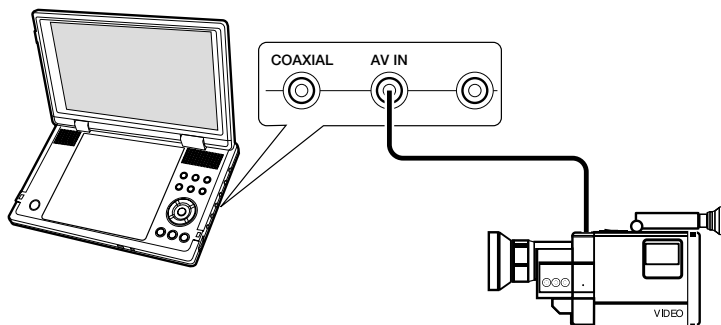
コアキシャル音声接続や、S-ビデオ、コンポーネント(プログレッシブスキャン)接続をする



- ◆ アンプにコアキシャルデジタル入力端子がある場合コアキシャルケーブルで接続することができます。コアキシャル接続をするとより高音質で聴くことができます。また、アンプが対応している場合は5.1チャンネルなどのサラウンドが楽しめます。
- ◆ コアキシャルケーブルは片側ミニプラグの市販品をお使いください。
- ◆ テレビにS-VIDEO端子またはコンポーネント映像端子がある場合はS-VIDEO接続、またはコンポーネント接続をして、より高画質で楽しむことができます。コンポーネント映像端子は色差信号を分けて伝送するためより高画質で映像を送ることができます。

注意 プログレッシブスキャン方式で映像を再生する場合はコンポーネント接続をしてください。

外部の映像や、音声を本機で再生する

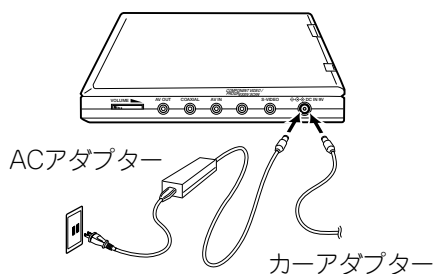


- ◆ 外部機器の入力には、外部機器専用のケーブルが必要な場合もあります。

電源の準備

電源の接続

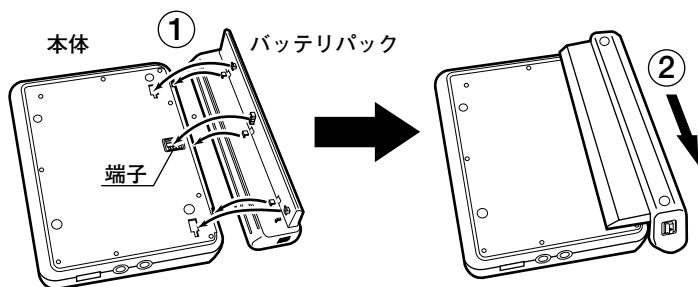
AC電源で使う、またはカー電源で使う



指定の電圧以外では絶対に
使わないでください。

- ◆ 付属のACアダプターまたはカーバッテリーアダプターを本機のDC IN 9V端子に接続します。
- ◆ 付属のACアダプターは交流100V専用です。付属のカーバッテリーアダプターは12V車専用です。
- ◆ 最近のコンセントには極性の区別があります。本機のプラグにも極性があり、膨らんでいない刃の方がアース側です。コンセントにさし込みにくいときは逆にして、さし込んでください。
関連する機器の極性を全て合わせると外部雑音の影響を少なくすることが出来ます。

充電バッテリーパックで使う



- ◆ 始めにACアダプターは取り外し、本機の電源をオフにします。

- ① 本体を裏返しにして、バッテリーパックの突起を本体のそれぞれの穴に合わせて入れます。
- ② バッテリーパックを矢印の方向へスライドさせて、固定します。

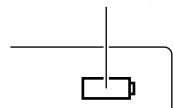
- ◆ 充電電池の残りが少なくなるとLCD画面にローバッテリー表示が出ます。

- ◆ 付属のバッテリーパックは充電されていません。ご使用前に14ページの手順にしたがって充電してください。

- ◆ バッテリーパックは、周囲温度5℃から35℃の範囲でご使用ください。

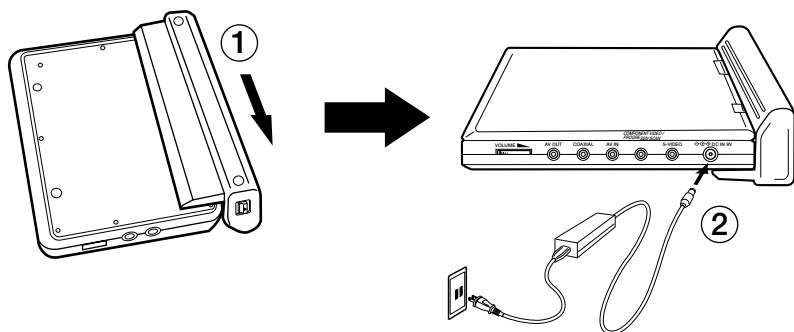
- ◆ フル充電したときの使用時間は液晶画面を表示したとき約3時間、液晶表示無しのとき約5時間です。

ローバッテリー表示



バッテリーパックで使わないときは取り外しておいてください。
バッテリーパックを取り外すときは必ず14ページの手順で取り外してください。
無理にスライドさせて外すと破損する恐れがあります。

バッテリーパックを充電する



◆ 始めにACアダプターは取り外し、本機の電源をオフにします。

① 本体を裏返しにし、バッテリーパックの突起を本体のそれぞれの穴に合わせて入れ、バッテリーパックを矢印の方向へスライドさせて、固定します。

② ACアダプターのDCコードを本体の **DC IN 9V** 端子に接続してACアダプターのプラグをコンセントに差し込みます。

◆ 充電が開始して、チャージ **CHG/POWER ON**表示がオレンジ色に点灯します。

◆ 約4.5時間でフル充電になり、表示が消灯します。ACアダプターを取り外します。

◆ 充放電は約500回できます。



1. 充電中「電源オン/充電」表示が点灯している間はACアダプターを外さないでください。

充電時間は約4.5時間です。充電時間は外部環境で変わります。

2. 充電中や、再生中はバッテリーパックが温かくなりますが、故障ではありません。

バッテリーパックの取り外しかた

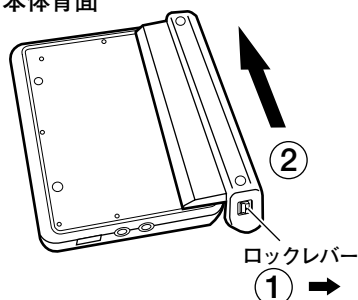
バッテリーパックが取り付けられているときは、本体にロックされています。

必ず下記のようにロックレバーを解除して、バッテリーパックを取り外してください。

① DC IN 9V 端子からプラグを抜き、底面を上にして、ロックレバーを矢印の方向へスライドさせます。

② ロックレバーをスライドさせたまま、バッテリーパックを矢印の方向へスライドさせて取り外します。

本体背面

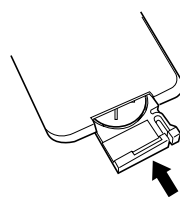
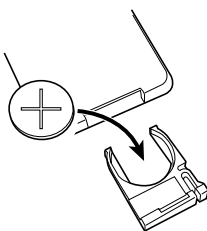
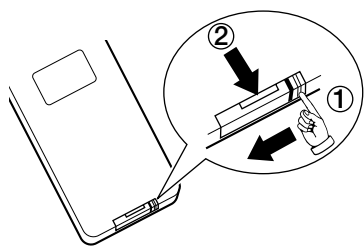


リモコンの使いかた

電池を入れる

工場出荷時は電池がすでにセットされていますが、電池が放電しないようにプラスチック製の保護シートがはさまれています。保護シートを丁寧に引き出して、ご使用ください。

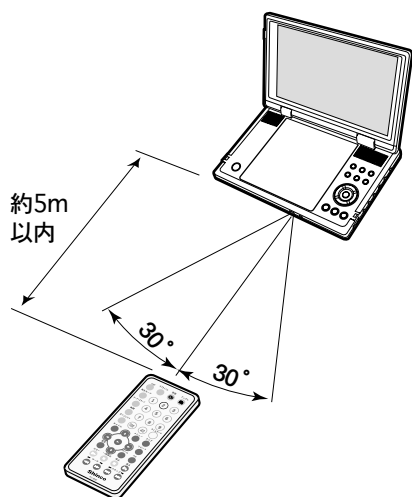
1. 電池フォルダーを外す
2. 電池を入れる
3. 元に戻す



①の部分にツメを掛け矢印の方向へ押しながら②の部分にツメを掛けて引き出します。

◆ 電池を交換するときは「リチウム電池」CR2025をご使用ください。

リモコンの操作範囲



- ◆ リモコンは本体のリモコン受光部に向けて図の範囲で操作してください。
- ◆ ボタンを押しても動作しにくくなった場合は新しい電池と交換してください。電池寿命は約1年です。
- ◆ リモコンを長期間使用しない場合は電池を取り外しておいてください。



リモコン受光部に直射日光が当たったり、インバーター式の蛍光灯の近くで使用すると誤動作をすることがあります。この場合は位置を換えてください。

基本的な使いかた

この説明書ではリモコンを中心に記載してあります。
同じ名前のボタンは本体でも同じ操作ができます。

ディスクをセットする(CD)(DVD)

1. 電源の準備をする。

13 ページを参照して電源の準備をします。

2. 電源スイッチをオンにする。

あらかじめ^{ボリューム}VOLUME ツマミを最小にしておきます。

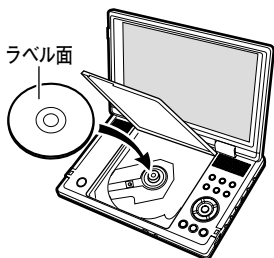
3. カバーを開ける。

4. OPEN ボタンを押しディスクトレイカバーを開ける。



5. ディスクをセットする。

ディスクのラベル面を上にして、中心軸にカチッとおさまるようにセットします。



6. ディスクトレイカバーを閉める。

ディスクトレイカバーの左前面を押し、カチッとロックするまで閉めます。

再生を始める(CD)(DVD)

再生(▶) ボタンを押す。



- ◆ DVDのディスクによってはメニュー画面が表示される場合があります。その場合は画面の指示に従ってください。

(DVDのメニュー再生→22ページ)

停止する(CD)(DVD)

停止(■) ボタンを押す。



- ◆ 停止後、再生(▶)ボタンを押すと、停止した場所から再生を開始します。
- ◆ 完全に停止する場合は停止(■)ボタンを2回押します。

一時停止する(CD)(DVD)

ステップ再生をする(DVD)

一時停止(II) ボタンを押す。



- ◆ 再生中に一時停止(II)ボタンを1回押すと一時停止します。
- ◆ DVD再生中は一時停止(II)ボタンを押すごとにステップ再生(コマ送り再生)になります。
- ◆ 通常再生に戻る場合は再生(▶)ボタンを押します。

操作禁止マークについて

DVDではソフト制作者の意図により、場面により操作が禁止されている場合があります。

この場合は、図のマークが表示されます。



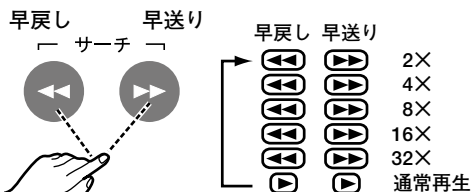
いろいろな再生をする

高速再生(サーチ) (CD) (DVD)

ディスクを高速再生して希望の場所を探すことができます。

サーチ (◀◀, ▶▶) ボタンを押す。

押すたびに再生速度が変わります。



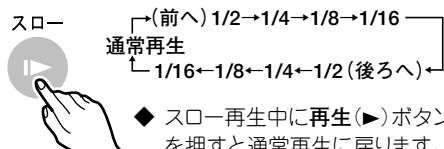
- ◆ 高速再生中に再生(▶)ボタンを押すと通常再生に戻ります。

スロー再生 (DVD)

DVDディスクをスローモーション再生します。

スローボタンを押す。

押すたびに再生速度が変わります。



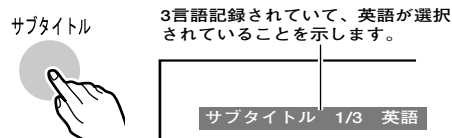
- ◆ スロー再生中に再生(▶)ボタンを押すと通常再生に戻ります。

字幕(サブタイトル)を切り換える (DVD)

ディスクに字幕が何種類か記録されている場合は、リモコンボタンで切り換えることができます。

サブタイトルボタンを押す。

押すたびに字幕が切り換わります。



- ◆ 字幕を表示させない場合は、表示されなくなるまで、サブタイトルボタンを繰り返し押します。
- ◆ 字幕を消去できないディスクもあります。
- ◆ 字幕の記録されていないディスクもあり、操作が禁止されている場合 ⊙マークが表示されます。

飛び越し再生(スキップ) (CD) (DVD)

CDのトラックや、DVDのチャプターを飛び越したり、出だしに戻ったりすることができます。

スキップ (◀◀, ▶▶) ボタンを押す。

▶▶ ボタンを押す



- ◆ 押すごとに次々に先のトラック、またはチャプターに飛び越して再生を始めます。

◀◀ ボタンを押す



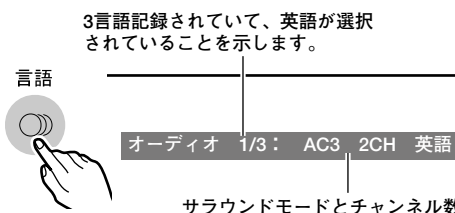
- ◆ 1回押すと再生中のトラック、またはチャプターの出だしへ戻ります。
- ◆ 続けて押すと次々に前のトラック、またはチャプターの出だしに戻り再生を始めます。

音声言語を切り換える (DVD)

ディスクに複数の音声言語が録音されているときは、リモコンボタンで切り換えることができます。

言語ボタンを押す。

押すたびに音声(言語)が切り換わります。



- ◆ 操作が禁止されている場合 ⊙マークが表示されます。

いろいろな再生をする(続き)

繰り返し再生(リピート) (CD) (DVD)

ディスク全体や、タイトル、トラックなどを繰り返し再生することができます。

チャプター：再生中のチャプターを繰り返し再生。

タイトル：再生中のタイトルを繰り返し再生。

トラック：再生中のトラックを繰り返し再生。

すべて：ディスク全体を繰り返し再生。

リピートボタンを押す。

押すたびにリピートモードが変わります。

DVD 再生時

リピート



- ① チャプター
- ② タイトル
- ③ すべて
- ④ (通常再生)

CD 再生時

リピート



- ① トラック
- ② すべて
- ③ (通常再生)

- ◆ 通常の再生に戻るときはリピートボタンを繰り返し押して、リピート表示を消します。
- 再生中のチャプターまたはトラックから通常再生に戻ります。

区間リピート再生 (CD) (DVD)

ディスクの自由に選んだ区間を繰り返し再生することができます。

1. 再生中、リピートを開始する場所でA-Bボタンを押す。

A-B



2. リピートを終了させる場所で、もう一度、A-Bボタンを押す。

A-B



- ◆ 選んだ区間を繰り返し再生します。
- ◆ 通常の再生に戻るときはもう一度A-Bボタンを押します。
- 再生中の場所から通常再生に戻ります。

ストップアンドリジューム再生 (CD) (DVD)

再生を停止して電源を切った後、もう一度電源を入れると続きから再生することができます。

1. 停止(■)ボタンを1回押す。

停止



1回だけ押す。

2. 電源を切る。

3. もう一度電源入れると、停止した位置から再生が開始されます。

- ◆ 停止(■)ボタンを押して停止した後、電源を切る前にディスクトレイカバーを開けると停止位置の記憶が解除されます。
- ◆ ディスクを入れ替えると停止位置の記憶が解除されます。
- ◆ MP3やMPEG4 (DivX)等のデータディスクでは機能しません。

いろいろな再生をする(続き)

ブックマーク再生(DVD)

本のしおりのように、ブックマークをしておくといつでもそのポイントに移動することができます。12ヶ所まで付けることができます。

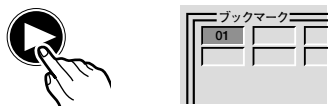
ブックマークを付ける

1. 再生中に再開ボタンを押す。

ブックマーク画面が表示されます。



2. マークをしたいシーンになったら再生(▶)ボタンを押す。



- ◆ 右方向ボタン(▶)を押してブックマークの枠を移動します。次にマークしたいシーンになったら、再生(▶)ボタンを押します。同様にして、12ヶ所までマークをすることができます。
- ◆ ブックマークの枠は、順番にとらわれず方向ボタン(↑/↓/←/→)で好きな枠を選んで、マークを付けることができます。
- ◆ すでにブックマークされた枠を選んで停止(■)ボタンを押すとブックマークは消去されます。

ブックマークを使う

1. 再開ボタンを押す。

ブックマーク画面が表示されます。

2. 方向ボタン(↑/↓/←/→)を押し、再生したいブックマークを選ぶ。

3. 再生(▶)ボタンを押す。

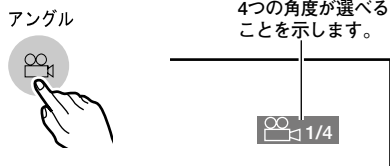
ブックマークされた位置から再生が始まります。

アングル(撮影角度)を選択する(DVD)

ディスクに撮影角度が同時に何種類か記録されていて、選択できる場合があります。

アングルボタンを押す。

アングルが選択できる画面のとき、アングルボタンを押すと、押すたびにアングルが切り換わります。



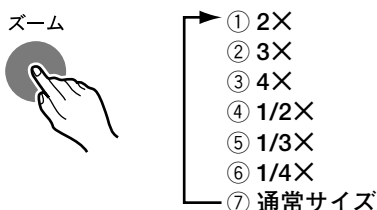
- ◆ 通常アングルマークが出ているときのみ選択できます。
- ◆ 操作が禁止されている場合○マークが表示されます。

ズーム再生をする(DVD)

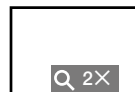
DVDの画像を拡大したり、縮小して見ることができます。DVDソフトによって禁止されている場合もあります。

ズームボタンを押す。

押すたびにズーム倍率が切り換わります。



表示例



- ◆ 拡大表示のとき、方向(↑/↓/←/→)ボタンを押すと、画像を移動することができます。
- ◆ 通常サイズに戻すにはズームボタンを繰り返し押して、ズーム表示を消します。

プログラム再生(CD/DVD)

ディスクのチャプターやトラックを好きな順にプログラムして、再生することができます。
プログラムは20チャプター(トラック)までできます。

1. 再生モードボタンを押しプログラムを選ぶ。

押すたびに次の様に切り換わります。

再生モード



- ① シャッフル
- ② ランダム
- ③ プログラム

◆ 再生中、停止中のどちらでも操作できます。

2. 再生したいタイトルとチャプター(DVD)またはトラック(CD)を入力する。

DVD 再生時

プログラム：タイトル(13) チャプター(2)

01	タイトル13チャプター01	06	タイトル--チャプター--
02	タイトル--チャプター--	07	タイトル--チャプター--
03	タイトル--チャプター--	08	タイトル--チャプター--
04	タイトル--チャプター--	09	タイトル--チャプター--
05	タイトル--チャプター--	10	タイトル--チャプター--

終了 開始 次へ▶▶▶

※数字が入力されていないときは[開始]表示はされません。

◆ カーソル(反転表示)が 01 にあることを確認して、タイトル、チャプターの順に数字ボタンで入力します。

(例)

タイトル3、チャプター15のとき：
3、+10、5の順に押す。

タイトル23、チャプター20のとき：
10/0、10/0、3、+10、+10の順に押す。



- ◆ カーソルが 02 に移動します。
- ◆ 同様に、2番目以降のプログラムを入力します。
- ◆ カーソルの移動は方向ボタン(↑/↓/←/→)で行います。
- ◆ 10プログラム以上入力するときは[次へ]を選択し再生(▶)ボタンを押します。

CD 再生時

プログラム：トラック (01-16)

01	03	06	--
02	--	07	--
03	--	08	--
04	--	09	--
05	--	10	--

終了 開始 次へ▶▶▶

※数字が入力されていないときは[開始]表示はされません。

◆ カーソル(反転表示)が 01 にあることを確認して、数字ボタンで入力します。

(例)

トラック3のとき：3を押す。

トラック10のとき：10/0を押す。

トラック25のとき：

+10、+10、5の順に押す。



- ◆ カーソルが 02 に移動します。
- ◆ 同様に、2番目以降のプログラムを入力します。
- ◆ カーソルの移動は方向ボタン(↑/↓/←/→)で行います。
- ◆ 10プログラム以上入力するときは[次へ]を選択し再生(▶)ボタンを押します。

3. [開始]にカーソルを移動し再生(▶)ボタンを押す。

- ◆ プログラムした順に再生が開始されます。
- ◆ DVDのプログラム再生を終了するときは停止(■)ボタンを2回押します。
- ◆ CDのプログラム再生を終了するときは停止(■)ボタンを1回押します。
- ◆ プログラム画面で[終了]を選択した場合は再生中のチャプター(トラック)が終了した後、停止します。
- ◆ スキップ(◀◀/▶▶)ボタンを押すとプログラムされた順にチャプター(トラック)を飛び越します。
- ◆ サーチ(◀◀/▶▶)ボタンを押すと早送り、早戻しができます。

いろいろな再生をする(続き)

順不同に再生する(CD/DVD)

ディスクのチャプターやトラックを順不同に再生することができます。

シャッフル：全てのチャプター(トラック)を順不同に1回ずつ再生して停止します。

ランダム：チャプター(トラック)を順不同に選んで再生します。同じチャプター(トラック)が続けて再生されることもあります。

1. 停止中または再生中に再生モードボタンを押す。

押すたびに次の様に切り換わります。

再生モード



- ① シャッフル
- ② ランダム
- ③ プログラム

◆ 再生中にシャッフル、またはランダムを選んだ場合、再生中のチャプター(トラック)が終了したあと順不同に再生が始まります。

2. 停止中の場合、再生(▶)ボタンを押す。

シャッフルまたはランダム再生が始まります。



DVDダイジェスト再生(DVD)

タイトルやチャプターの出だしの部分を一覧にして表示させ、画面で選んで再生を始めることができます。

タイトルダイジェスト：タイトルの一覧表示をします。
チャプターダイジェスト：チャプターの一覧表示をします。

タイトルインターバル：タイトルのインターバル部分の一覧表示をします。

チャプターインターバル：チャプターのインターバル部分の一覧表示をします。

ブックマークダイジェスト：ブックマークの一覧表示をします。(ブックマークが設定されているときのみ表示)

1. 再生中にダイジェストボタンを押す。

ダイジェスト



タイトルダイジェスト

チャプターダイジェスト

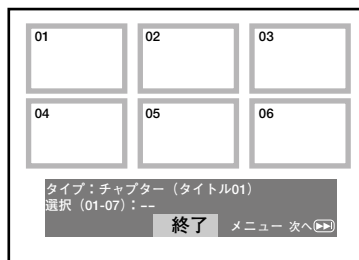
タイトルインターバル

チャプターインターバル

ブックマークダイジェスト

(ブックマークが設定されているときのみ表示)

2. 上下方向(↑/↓)ボタンで項目を選び、再生(▶)ボタンを押す。



◆ 再生したい番号を数字ボタンで入力するとその場所から再生します。

◆ 方向ボタンで[メニュー]を選ぶとダイジェストのメニュー画面に戻ります。

◆ ►►ボタンを押すと次の6画面が表示されます。

◆ [終了]を選ぶとダイジェストモードが終了します。

いろいろな再生をする(続き)

CDダイジェスト再生(CD)

CDの各トラックの出だし部分を約10秒ずつ次々と再生します。曲の出だしを確認して、再生することができます。

ダイジェストボタンを押す。

CDの各トラックの出だし部分を約10秒ずつ次々と再生します。

ダイジェスト



トラック01/16

スキャン

- ◆ 停止(■)ボタンを押すとダイジェスト機能が解除されて停止します。
- ◆ ダイジェスト再生中に再生(▶)ボタンを押すと再生中のトラックから通常再生が始まります。

数字ボタンで直接選択する(CD)

CDのトラックをリモコンの数字ボタンで直接選んで再生を始めることができます。

数字ボタンで好きなトラックを選ぶ。(例)

トラック3のとき: 3を押す。

トラック10のとき: 10/0を押す。

トラック25のとき: +10、+10、5の順に押す。



- ◆ 選ばれたトラックから再生が始まります。
- ◆ 停止中でも再生中でも操作できます。
- ◆ CDに含まれる最大トラック番号以上の数字は受け付けません。

オーディオモードの切換(CD)(DVD)

ディスクの音声出力を切り換えられます。

モノ(左) : 左の音声を左右に出力されます。

モノ(右) : 右の音声を左右に出力されます。

モノミックス : 左右の音声をミックスして左右に出力します。

ステレオ : ステレオで出力されます。

オーディオモードボタンを押す。

押すたびに次の様に切り換わります。

オーディオモード



- ① モノ(左)
- ② モノ(右)
- ③ モノミックス
- ④ ステレオ

- ◆ 通常は「ステレオ」にしておきます。

DVDのメニュー再生(DVD)

DVDのディスクにメニュー画面が記録されている場合があります。この場合、次のようにしてメニューの選択をします。

再生中、または停止中にメニューボタンを押す。

メニュー



- ◆ 再生中または停止中や、一定のシーンで操作を禁止しているソフトもあります。

方向ボタン(↑/↓/←/→)または数字ボタンでメニューの内容を選ぶ

- ◆ 操作方法はディスクによって異なります。詳しくはソフトのジャケットなどをご参照ください。

いろいろな再生をする(続き)

タイムサーチ機能(CD) (DVD)

タイトルや、チャプター、トラック番号を直接入力したり、タイトル、チャプター、トラック内の時間を指定して再生することができます。

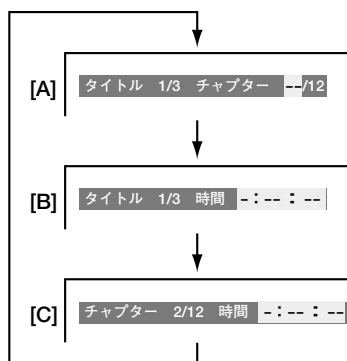
タイムサーチボタンを押す。

タイムサーチ



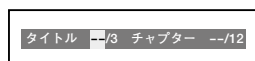
DVD 再生中

押すたびに次の様に切り換わります。

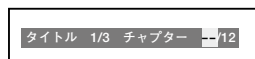


A : タイトル、チャプター番号を選んで再生。

- ① [A]を選んで左方向ボタンでタイトル番号を反転させる。



- ② 数字ボタンでタイトル番号を入力する。
- ③ 右方向ボタンでチャプター番号を反転させる。



- ④ 数字ボタンでチャプター番号を入力する。

指定したタイトル、チャプターから再生が始まります。

B/C: タイトル、チャプターの時間を選んで再生。

- ① [B]または[C]を選ぶ。
- ② 数字ボタンで時間を入力する。

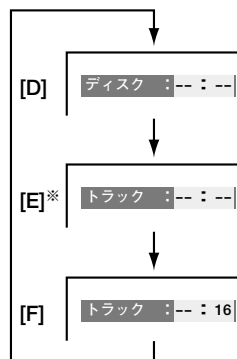
(例)

5分25秒を指定するとき:10/0、10/0、5、25の順に押す。

CD 再生時

タイムサーチボタンを押すたびに次の様に切り換わります。

タイムサーチ



※: E※は CD 再生中のみ表示されます。

D/E: ディスクまたはチャプターの時間を選んで再生。

- ① [D]、または[E]を選ぶ。
- ② 数字ボタンで時間を入力する。

(例)

1時間5分25秒を指定するとき:
1、10/0、5、25の順に押す。

F: トラック番号を選んで再生。

- ① [F]を選ぶ。
- ② 数字ボタンで番号を入力する。

OSD(オン・スクリーン・ディスプレイ)を使った操作

基本操作

ディスプレイ上に色々な機能のを表示させ、リモコンで選んだり、操作することができます。この画面上の表示をOSD(オン・スクリーン・ディスプレイ)と言います。

OSDを使った操作は、ほとんど一定の操作方法で出来ますので大変便利です。

ここでは基本的な操作方法を説明してあります。

1. OSDを表示させる。

ディスク再生中にOSDボタンを押すとオン・スクリーン表示になります。

OSD

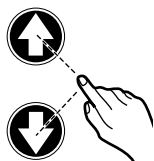


2. メニューを選ぶ。

リモコンの左右方向ボタン(◀/▶)で項目を選びます。画面で反転表示になっている部分が、選択された項目です。



3. リモコンの上下方向ボタン(↑/↓)で内容を選択する。



4. OSD表示を消すときは、もう一度 OSDボタンを押す。

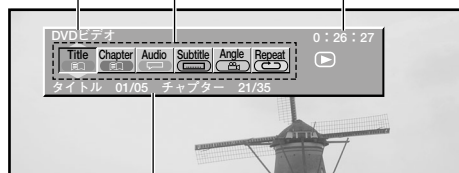
約10秒間操作しないとOSD画面が消えます。

OSD画面例

再生中のディスクの種類

メニューアイコン

再生時間



選択されているメニューの
内容表示

メニューアイコン

DVD再生時

タイトル

Title : 再生するタイトルを選択します。

チャプター

Chapter : 再生するチャプターを選択します。

オーディオ

Audio : 音声出力を選択します。

サブタイトル

Subtitle : 字幕を選択します。

アングル

Angle : カメラアングルを選択します。

リピート

Repeat : リピートモードを選択します。

CD/VCD 再生時

トラック

Track : 再生するトラック(曲)を選択します。

L/R : 音声出力チャンネルを選択します。

Audio : CDでは選択できません。

Repeat : リピートモードを選択します。

◆ ディスクの制作者の意図により、機能が選択できない場合があります。この場合は画面に○マークが出ます。

◆ 操作する機能によって、使用するボタンが異なります。

OSD(オン・スクリーン・ディスプレイ)を使った操作(続き)

タイトルを選ぶ(DVD)

OSDを使って、指定したタイトルへ飛び越すことが出来ます。

タイトルが1つしかないディスクもあります。

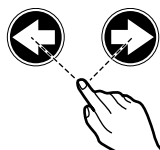
1. OSDボタンを押す。

OSD

ディスク再生中にOSDボタンを押すとオン・スクリーン表示になります。

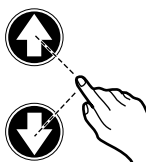


2. 左右方向ボタン(←/→)で「Title」を選ぶ。

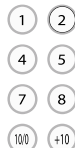


通常は「Title」が選ばれています。確認の上次のステップに進んでください。

3. 上下方向ボタン(↑/↓)で希望のタイトル番号を選ぶ。



数字ボタンを押して直接番号で指定することもできます。



(例)

タイトル04を選ぶとき
→「4」を入力。

タイトル12を選ぶとき
→「+10、2」を入力。



- ◆ 選択したタイトルから再生が始まります。
- ◆ OSD画面を終了するときはOSDボタンを押します。

チャプターを選ぶ(DVD)

OSDを使って、指定したチャプターへ飛び越すことが出来ます。

チャプターが1つしかないディスクもあります。

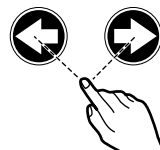
1. OSDボタンを押す。

OSD

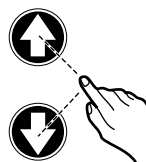
ディスク再生中にOSDボタンを押すとオン・スクリーン表示になります。



2. 左右方向ボタン(←/→)で「Chapter」を選ぶ。



3. 上下方向ボタン(↑/↓)で希望のチャプター番号を選ぶ。



数字ボタンを押して直接番号で指定することもできます。



(例)

チャプター04選ぶとき
→「4」を入力。

チャプター12選ぶとき
→「+10、2」を入力。



- ◆ 選択したチャプターから再生が始まります。
- ◆ OSD画面を終了するときはOSDボタンを押します。

OSD(オン・スクリーン・ディスプレイ)を使った操作(続き)

オーディオを選ぶ(DVD)

複数の音声(オーディオ)が記録されているディスクでは、OSDを使って、音声フォーマットや、言語の選択をすることが出来ます。

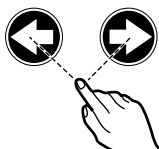
1. OSDボタンを押す。

OSD

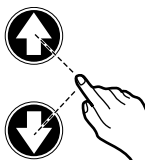


ディスク再生中に**OSD**ボタンを押すとオン・スクリーン表示になります。

2. 左右方向ボタン(←/→)で「オーディオ」を選ぶ。



3. 上下方向ボタン(↑/↓)で希望の音声フォーマットや言語を選ぶ。



- ◆ 選択した音声で再生されます。ディスクを交換したり、電源を切ると初期設定の音声に戻ります。
- ◆ OSD画面を終了するときは**OSD**ボタンを押します。

字幕言語(サブタイトル)を選ぶ(DVD)

複数の字幕言語(サブタイトル)が記録されているディスクでは、OSDを使って、言語の選択をすることが出来ます。

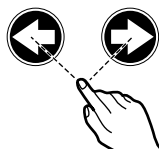
1. OSDボタンを押す。

OSD

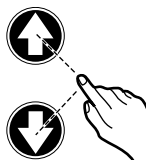


ディスク再生中に**OSD**ボタンを押すとオン・スクリーン表示になります。

2. 左右方向ボタン(←/→)で「サブタイトル」を選ぶ。



3. 上下方向ボタン(↑/↓)で希望の字幕番号を選ぶ。



- ◆ 選択した言語が表示されます。ディスクを交換したり、電源を切ると初期設定の言語に戻ります。
- ◆ 字幕を表示させたくないときは**OFF**を選びます。
- ◆ OSD画面を終了するときは**OSD**ボタンを押します。

OSD(オン・スクリーン・ディスプレイ)を使った操作(続き)

カメラアングルを選ぶ(DVD)

複数のカメラアングルで記録されたシーンではOSDを使って、カメラアングルを指定して再生することが出来ます。

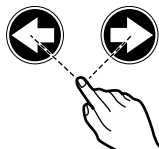
1. OSDボタンを押す。

OSD

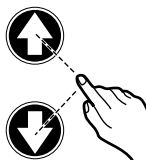


ディスク再生中にOSDボタンを押すとオン・スクリーン表示になります。

2. 左右方向ボタン(←/→)で「Angle」を選ぶ。



3. 上下方向ボタン(↑/↓)で希望のカメラアングルを選ぶ。



数字ボタンを押して直接番号で指定することもできます。



(例)

04選ぶとき
→「4」を入力。

12選ぶとき
→「+10、2」を入力。



- ◆ 選択したカメラアングルで再生が始まります。
- ◆ カメラアングルはディスクや、シーンによって複数設定されていない場合があります。
- ◆ OSD画面を終了するときはOSDボタンを押します。

リピート再生をする(DVD)

OSDを使って、色々なリピート(繰り返し)再生をすることができます。

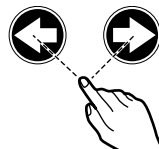
1. OSDボタンを押す。

OSD

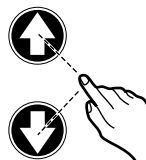


ディスク再生中にOSDボタンを押すとオン・スクリーン表示になります。

2. 左右方向ボタン(←/→)で「Repeat」を選ぶ。



3. 上下方向ボタン(↑/↓)で希望のリピートモードを選ぶ。



- チャプター : 再生中のチャプターを繰り返し再生。
タイトル : 再生中のタイトルを繰り返し再生。
すべて : ディスク全体を繰り返し再生。
OFF : リピート解除。

- ◆ 選択したリピート機能は、リピートを取り消すまで繰り返し再生します。
 - ◆ OSD画面を終了するときはOSDボタンを押します。
- [リピートの取り消しかた]
1. 停止(■)ボタンを2回押す。
 2. リピートモードでOFFを選択する。

OSD(オン・スクリーン・ディスプレイ)を使った操作(続き)

CDのトラックを選ぶ(CD)

OSDを使って、CDの指定したトラックへ飛び越すことが出来ます。

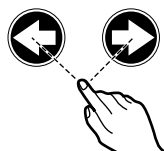
1. OSDボタンを押す。

OSD

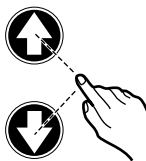


ディスク再生中にOSDボタンを押すとオン・スクリーン表示になります。

2. 左右方向ボタン(←/→)で「Track」を選ぶ。



3. 上下方向ボタン(↑/↓)で希望のトラック(曲番)を選ぶ。



数字ボタンを押して直接番号で指定することもできます。



(例)

トラック04を選ぶとき

→「4」を入力

トラック10を選ぶとき

→「10/0」を入力。

トラック12を選ぶとき

→「+10、2」を入力。

- ◆ 選択したトラックから再生が始まります。
- ◆ OSD画面を終了するときはOSDボタンを押します。

オーディオモードの切換(CD)

ディスクの音声出力を切り換えられます。

モノ(左) : 左の音声を左右に出力されます。

モノ(右) : 右の音声を左右に出力されます。

モノミックス: 左右の音声をミックスして左右に出力します。

ステレオ : ステレオで出力されます。

1. OSDボタンを押す。

OSD

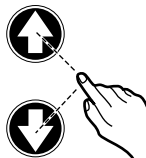


ディスク再生中にOSDボタンを押すとオン・スクリーン表示になります。

2. 左右方向ボタン(←/→)で「L/R」を選ぶ。



3. 上下方向ボタン(↑/↓)で希望の音声トラックを選ぶ。



モノ(左): 左音声をモノラルで再生

モノ(右): 右音声をモノラルで再生

モノミックス: 左右音声をミックスしてモノラルで再生

ステレオ: ステレオで再生

- ◆ 選択した音声で再生されます。ディスクを交換したり、電源を切ると初期設定の音声に戻ります。
- ◆ OSD画面を終了するときはOSDボタンを押します。

OSD(オン・スクリーン・ディスプレイ)を使った操作(続き)

CDのリPEAT再生をする(CD)

OSDを使って、CDの色々なリPEAT(繰返し)再生をすることができます。

1. OSDボタンを押す。

OSD

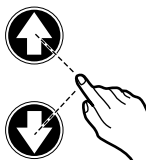


ディスク再生中に**OSD**ボタンを押すとオン・スクリーン表示になります。

2. 左右方向ボタン(←/→)で「Repeat」を選ぶ。



3. 上下方向ボタン(↑/↓)で希望のリPEATモードを選ぶ。



- | | |
|------|-------------------|
| トラック | : 再生中のトラックを繰返し再生。 |
| すべて | : ディスク全体を繰返し再生。 |
| OFF | : リPEAT解除。 |

- ◆ 選択したリPEAT機能は、リPEATを取り消すまで繰返し再生します。
- ◆ OSD画面を終了するときには**OSD**ボタンを押します。

[リPEATの取り消しかた]

1. 停止(■)ボタンを2回押す。
2. ディスクを取り出す。
3. リPEATモードで**OFF**を選択する。

初期設定を変更する

設定内容の説明

本機はテレビ画面の対応や、音声出力など様々な設定がされています。
これらの初期設定値を、お使いの接続機器などに合わせて変えることができます。
設定内容は次のようになっています。(☐ で囲まれた項目が工場出荷時に設定されています。)

TV表示

ノーマル/PS:

本機を通常のテレビに接続するときに選択します。
ワイドスクリーン映像を再生した場合は左右がカットされて表示されます。



ノーマル/LB:

本機を通常のテレビに接続するときに選択します。
ワイドスクリーン映像を再生した場合は上下に黒い帯が表示されます。



ワイド:

本機をワイドスクリーンテレビに接続するときに選択します。



TVタイプ

PAL:

ヨーロッパで採用されているテレビのタイプです。

マルチ:

PALとNTSCのテレビタイプに合わせて、自動的に切り換わるテレビに接続するときに選択します。

NTSC:

日本国内(ほかにアメリカなど)のテレビタイプです。

OSD(オン・スクリーン・ディスプレイ)言語

英語と日本語が選べます。

全 般 設 定	SPDIF
	OFF: 本機のデジタル出力端子から信号は出ません。
	SPDIF/RAW: 本機のデジタル出力端子(COAXIAL)からドルビーデジタルおよびMPEGデコーダー内蔵のデジタルアンプに接続するときに選択します。
	SPDIF/PCM 本機のデジタル出力端子(COAXIAL)から2チャンネルデジタルアンプに接続するときに選択します。ドルビーデジタルまたはMPEGフォーマットのディスクを再生した場合は2チャンネルPCMで出力されます。
	キャプション
	クローズドキャプションのON(表示)、OFF(非表示)を選びます。
	スクリーンセーバー
	スクリーンセーバーのONまたはOFFを選択します。 スクリーンセーバーをONにすると2〜3分間映像が停止するか、操作がなかった場合スクリーンセーバー画面になります。

オ ー デ ィ オ の 設 定	スピーカ設定
	ダウンミックス Lt/Rt: マルチチャンネルトラックを左右のチャンネルに振り分けます。 ステレオ: マルチチャンネルトラックをステレオに振り分けます。
	ドルビーデジタル設定
	デュアル・モノ ステレオ: ステレオで出力されます。 モノ(左): 左右のチャンネルに左チャンネルの信号が出力されます。 モノ(右): 左右のチャンネルに右チャンネルの信号が出力されます。 モノミックス: 5.1チャンネルディスクのときのみ機能して、各チャンネルをモノにミックスします。
	ダイナミックレンジ(OFF) ドルビーデジタルディスクを再生するとき、最大音量と最小音量の幅を設定して、聞き易くする機能です。OFFが圧縮無しで、FULLがダイナミックレンジを最大限圧縮します。

初期設定を変更する(続き)

オーディオの設定	チャンネルイコライザ
	EQのタイプ 再生している音楽のジャンルや、音質の好みに合わせて8種類のパターンから音質を選択することが出来ます。 イコライザーのパターン: なし(フラット)、ロック、ポップ、ライブ、ダンス、テクノ、クラシック、ソフト。
	3D処理
	バーチャルサラウンド バーチャルサラウンドのON、OFFを選択します。 リバースモード 再生している音楽のジャンルや、音質の好みに合わせて8種類のパターンから残響音のタイプを選択することが出来ます。 リバースのタイプ: OFF、コンサート、リビングルーム、ホール、バスルーム、洞窟、アリーナ、教会。

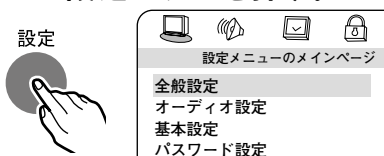
※「基本設定」はディスクの停止中のみ操作できます。

基本設定	オーディオ、サブタイトル、ディスク・メニュー
	音声、字幕、ディスクメニューのそれぞれで、再生時の言語を選択します。 ディスクに記録された優先順位に関わらず基本設定の言語が優先されます。 (ディスクにその言語が記録されていない場合はディスクの言語で再生されます。) 設定可能言語: 英語、フランス語、スペイン語、中国語、日本語
	親による管理
	子供に見せたくないソフトなどのレベルを設定して設定値よりも高いレベルのソフトが再生できないようにすることができます。 例えばレベル“3 PG”に設定するとそれ以上のソフトは再生されません。 設定レベルは“1 G”から“8 アダルト”の範囲です。
	初期値
	リセット 工場出荷時の設定に戻します。

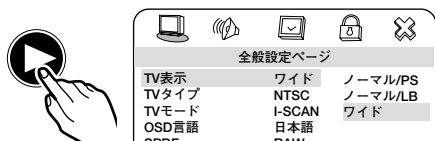
パスワードの設定	パスワード設定
	パスワードモード ON: パスワードが有効になり、「親による管理」(視聴制限)は選択できない状態になります。 OFF: パスワードがロックされ、「親による管理」(視聴制限)が選択できます。 パスワード パスワードの変更をするときに選択します。

全般設定をする

1. ディスク再生中、または停止中に設定ボタンを押す。



2. 全般設定が選択されていることを確認して再生ボタンを押す。



3. 上下方向(↑/↓)ボタンで設定する項目を選び、再生(▶)ボタンを押す。

上図の例では「TV表示」を選んでいきます。

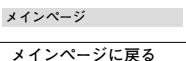
4. 上下方向(↑/↓)ボタンで設定する項目を選び、再生(▶)ボタンを押す。

上図の例では「ワイド」を選んでいきます。

5. 左方向(←)ボタンで前のメニューに戻る。

6. 下方向(↓)ボタンで「メインページ」を選択し、再生(▶)ボタンを押す。

続けて設定するときは別の項目を選びます。



7. 下方向(↓)ボタンで「セットアップの終了」を選択し、再生(▶)ボタンを押す。

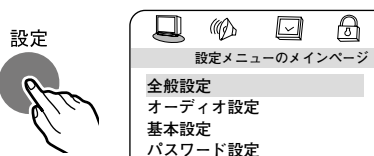
セットアップの終了

設定メニュー終了

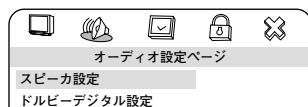
設定画面が終了します。

オーディオの設定をする

1. ディスク再生中、または停止中に設定ボタンを押す。



2. 上下方向(↑/↓)ボタンで「オーディオ設定」を選び、再生ボタンを押す。



3. 上下方向(↑/↓)ボタンで設定する項目を選び、再生(▶)ボタンを押す。

上図の例では「スピーカ設定」を選んでいきます。

もう一度サブメニュー画面が出ます。

4. 上下方向ボタンで項目を選び、再生(▶)ボタンを押す。

右側のメニューが選択されます。

5. 上下方向ボタンで項目を選び、再生(▶)ボタンを押す。

6. 左方向(←)ボタンで前のメニューに戻る。

7. 下方向(↓)ボタンで「オーディオ設定」を選択し、再生(▶)ボタンを押す。

続けて設定するときは別の項目を選びます。

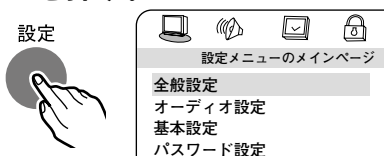
8. 下方向(↓)ボタンで「メインページ」を選択し、再生(▶)ボタンを押す。

9. 下方向(↓)ボタンで「セットアップの終了」を選択し、再生(▶)ボタンを押す。

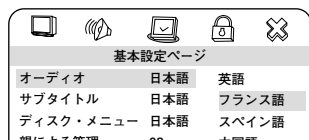
設定画面が終了します。

基本設定をする

1. ディスク停止中に設定ボタンを押す。



2. 上下方向(↑/↓)ボタンで「基本設定」を選び再生(▶)ボタンを押す。



3. 上下方向(↑/↓)ボタンで設定する項目を選び、再生(▶)ボタンを押す。

上図の例では「オーディオ」を選択。

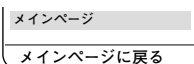
4. 上下方向(↑/↓)ボタンで設定する項目を選び、再生(▶)ボタンを押す。

上図の例では「フランス語」を選択。

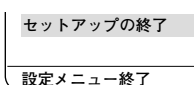
5. 左方向(←)ボタンで前のメニューに戻る。

6. 下方向(↓)ボタンで「メインページ」を選択し、再生(▶)ボタンを押す。

続けて設定するときは別の項目を選びます。



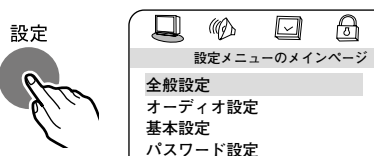
7. 下方向(↓)ボタンで「セットアップの終了」を選択し、再生(▶)ボタンを押す。



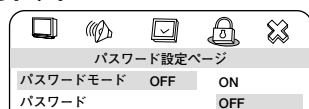
設定画面が終了します。

パスワードモードを設定する

1. ディスク再生中、または停止中に設定ボタンを押す。



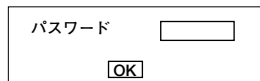
2. 上下方向(↑/↓)ボタンで「パスワード設定」を選び再生(▶)ボタンを押す。



3. 「パスワードモード」を選び、再生(▶)ボタンを押す。

4. 上下方向(↑/↓)ボタンでONまたはOFFを選び、再生(▶)ボタンを押す。

前の設定を変更する場合パスワードが要求されます。



5. 数字ボタンでパスワードを入力する。

パスワードは5桁です。工場出荷状態では「99999」に設定されています。

6. 再生(▶)ボタンを押す。

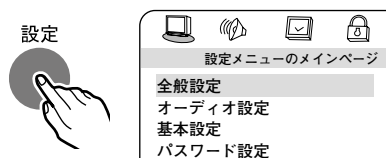
7. 下方向(↓)ボタンで「メインページ」を選択し、再生(▶)ボタンを押す。

8. 下方向(↓)ボタンで「セットアップの終了」を選択し、再生(▶)ボタンを押す。

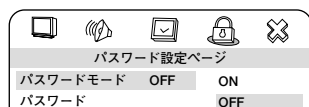
設定画面が終了します。

パスワードを変更する

- 1.** ディスク再生中、または停止中に設定ボタンを押す。



- 2.** 上下方向(↑/↓)ボタンで「パスワード設定」を選び再生(▶)ボタンを押す。



- 3.** 「パスワード」を選び、再生(▶)ボタンを押す。
- 4.** 「変更」が選択されるので、再生(▶)ボタンを押す。

旧パスワード	
新パスワード	
パスワード確認	

- 5.** 数字ボタンで旧パスワードを入力する。

パスワードは5桁です。工場出荷状態では「99999」に設定されています。

旧パスワード	XXXXX
新パスワード	
パスワード確認	

- 6.** 下方向(↓)ボタンを2回押す。

新パスワードの入力ボックスにカーソルが移動します。

- 7.** 新パスワードを入力し、下方向(↓)ボタンを2回押す。

- 8.** 確認のため、新パスワードをもう一度入力し、再生(▶)ボタンを押す。
パスワードが変更されました。

- 9.** 下方向(↓)ボタンで「メインページ」を選択し、再生(▶)ボタンを押す。

- 10.** 下方向(↓)ボタンで「セットアップの終了」を選択し、再生(▶)ボタンを押す。

設定画面が終了します。

MP3/MPEG4(.aviファイルのみ)ディスクの再生をする

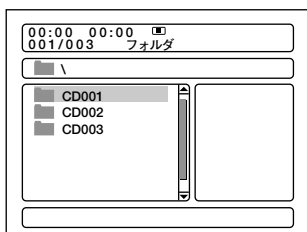
本機は高圧縮で、音質の劣化が少ないMP3ファイルとMPEG4動画を再生することが出来ます。MP3のディスクには拡張子「.mp3」以外のデータを混ぜないでください。大きな雑音が発生する恐れがあります。

ファイル：音楽CDのトラック(曲)の相当します。
フォルダー：ファイルを収納しているフォルダーです。
ファイルやフォルダーは階層構造になっています。

メニュー画面から選んで再生する

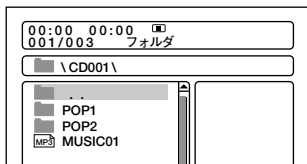
1. データーディスクをセットする。

ディスクの情報を読み込んでメニュー画面が表示されます。



2. 下方向(↓)ボタンを押して再生するフォルダーを選び、再生(▶)ボタンを押して確定する。

フォルダーの中身が表示されます。
目的のファイルが表示されるまで選択を繰り返します。
ファイルを選んだ場合は再生が始まります。
一番上のファイルまたはフォルダーを選んで再生(▶)ボタンを押した場合は一つ上の階層が表示されます。



3. 再生するファイルを選び、再生(▶)ボタンを押す。

再生が始まりフォルダー内のファイルを再生して停止します。

色々な再生

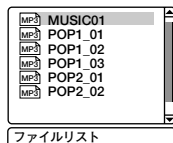
再生モードを切り換える。

ファイルのみを全て表示させて、再生できます。

停止中に再生モードボタンを押す。

押すごとに、ファイルリストモードとノーマルモードが切り換わります。

再生モード



ファイルリストモード表示

再生(▶)ボタンを押すと全てのファイルを再生して停止します。

順不同に再生する。

シャッフル/ランダム再生ができます。(21ページ)

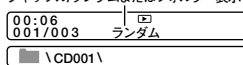
再生中に再生モードボタンを押す。

押すごとに、シャッフル、ランダム、フォルダー(通常再生)が切り換わります。

再生モード



シャッフル/ランダムまたはフォルダー表示



繰り返し再生をする。

ファイルを選んでリピートボタンを押す。

押すごとに、シングルリピート、フォルダーR、フォルダー(通常再生)が切り換わります。

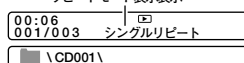
シングルリピート: ファイルを繰り返し再生。

フォルダーR(フォルダーリピート): フォルダー内の全ファイルを繰り返し再生。

リピート



リピートモード表示



飛び越し再生(スキップ)をする。

再生中にスキップ(◀◀▶▶)ボタンを押す。

押すごとに、前後のファイルに飛び越します。
再生中のフォルダーを越えてスキップすることは出来ません。

メモリーカードの再生をする

本機はメモリーカードに記憶されたMP3音楽データや、JPEG静止画データを再生することができます。

本機は次のメモリーカードを再生できます。

MMCカード、SDカード、メモリースティック

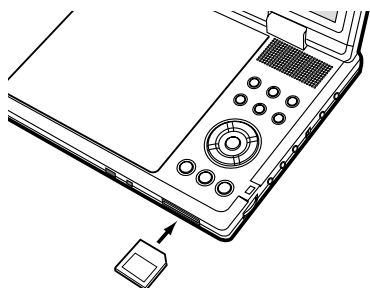
※ 上記のメモリーカードでもメモリー容量などによっては本機で再生できない場合があります。

再生の準備

1. 電源スイッチをオンにする。

あらかじめ VOLUME ツマミを最小にしておきます。

2. メモリーカードを挿入する。



3. 本体の CARD ボタン、またはリモコンの DVD/ カード ボタンを押して DVD とカードを切り換える。

(本体)

CARD



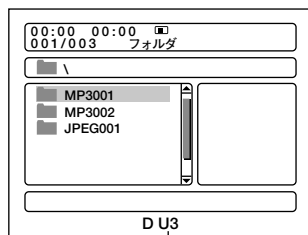
(リモコン)

DVD/カード



メモリーカードの再生を始める

CARD ボタンまたは USB/CARD ボタンを押してカードに切り換えるとメニュー画面が表示されます。



U3またはU4の表示

U3: メモリースティックの時

U4: MMCまたはSDカードの時

1. 下方向(↓) ボタンを押して再生するフォルダーを選び、再生(▶) ボタンを押して確定する。

MP3/DivXと同様の操作をします。
(36ページ参照)

2. 再生するファイルを選び、再生(▶) ボタンを押す。

再生が始まりフォルダー内のファイルを再生して停止します。

静止画(JPEG画像)の場合自動的に画面が切り換わる「スライドショー」再生をします。

色々な再生

MP3/DivXと同様の操作ができます。

- ◆ 再生モードを切り換える(36ページ)
- ◆ 順不同に再生する(36ページ)
- ◆ 繰り返し再生をする(36ページ)
- ◆ 飛び越し再生をする(36ページ)
- ◆ ズーム再生をする(19ページ)



メモリーカードの内容により表示のされ方は異なります。

液晶画面の調整をする

TFT液晶画面の明るさや、色合い、表示サイズが変更できます。

画面の明るさを調節する

1. 再生中または停止中に本体のMONITORボタンを押す。

押すごとに下ののように切り換わります。

- ① ブライトネス : 明るさ
② カラー
③ 表示モード : 画面のサイズ

ブライтネス ■■■■■..... 08

2. ブライトネスを選び、リモコンの左右方向ボタン(←/→)で明るさを調整します。

画面の色合いを調節する

1. 再生中または停止中に本体のMONITORボタンを押す。

押すごとに下のように切り換わります。

- ① ブライトネス : 明るさ
② カラー
③ 表示モード : 画面のサイズ

カラー ■■■■■■■■■■ 08

2. カラーを選び、リモコンの左右方向ボタン(←/→)で色合いを調整します。

画面の表示モードを調節する

1. 再生中または停止中に本体のMONITORボタンを押す。

押すごとに下ののように切り換わります。

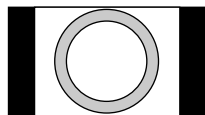
- ① ブライトネス : 明るさ
② カラー
③ 表示モード : 画面のサイズ

表示モード：全画面

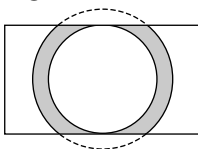
2. 表示モードを選び、リモコンの左右方向ボタン(←/→)を押す。
ボタンを押すごとに下のように切り換わります。

ノーマルテレビを再生した場合

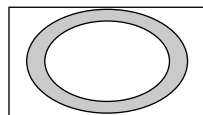
① ノーマル



② ズーム



③ 全画面



故障と思われる症状ですが...

故障と思われる症状がでた場合、もう一度下の表にしたがって確認してください。

症 状	対 応
音が出ない。	・ 本機の接続が確実か点検してください。 ・ ヘッドホン使用時には、ヘッドホンのボリュームを最小に設定していないか点検してください。 ・ TVやアンプの操作が適正か確かめてください。
画像が出ない。	・ 本機の接続が確実か点検してください。 ・ TVの操作が適正か確かめてください。 ・ カラーシステムの設定が適正か確かめてください。 ・ ビデオ付TVやビデオデッキに接続して楽しむ場合は、コピーガードが働き正しく表示できません。直接TVに接続してお楽しみください。
音質が悪い。	・ オーディオ出力モードの設定が適正か確かめてください。 ・ 本機とアンプ間のオーディオ接続が適正か確かめてください。
ディスクが再生できない。	・ 本機にディスクが入っていますか。 ・ ディスクのラベル面を上にしてディスクトレイに正しく載せてください。 ・ ディスクを掃除してください。 ・ 本機内に結露が無いか確かめてください。ディスクを外し、本機を約1時間ONにしておいてください。
リモコンが作動しない。	・ リモコンと本機間の障害物を取り除いてください。 ・ リモコンを本機のリモートセンサに向けてください。 ・ 電池を新しいものと交換してください。
画像が流れ、映像が出ない	・ 本機の設定がTVと合っていません。30ページ、初期設定の「全般設定」→「TVタイプ」でお使いのテレビに合わせてください。

その他

著作権について

- ◆ ディスクを無断で複製、放送、上映、有線放送、公開演奏、レンタル（有償、無償を問わず）することは、法律により禁止されています。
- ◆ ビデオデッキなどを接続してディスクの内容を複製しても、コピー防止機能の働きにより、複製した画像は乱れます。
- ◆ 本機はマクロビジョンコーポレーション等が所有する合衆国特許および知的所有権によって保護された、著作権保護テクノロジーを搭載しています。この著作権保護テクノロジーの使用にはマクロビジョンコーポレーションの認可が必要であり、同社の認可がない限りは一般家庭および特定の視聴用に制限されています。解析（リバーズエンジニアリング）または改造は禁止されています。
- ◆ 本機は、ドルビーラボラトリーズライセンスングコーポレーションからの実施権に基づき製造されています。
- ◆ ドルビー、Dolby、ドルビープロロジックおよびダブルD記号「」は、ドルビーラボラトリーズライセンスングコーポレーションの商標です。
- ◆ DTS、DTSデジタルサラウンドは、デジタルシアターシステムズ社の登録商標です。
- ◆ DVDロゴは商標です。
- ◆ メモリースティックは商標です。

レーザー		波長650nm
ビデオシステム		PAL/MULTI/NTSC
周波数応答		20Hz～20KHz±1dB
SN比		95dB以上
オーディオ歪み+ノイズ		80（1KHz）以下
チャンネルセパレーション		85dB以上
ダイナミックレンジ		85dB以上
出力	オーディオ出力 （アナログオーディオ）	出力レベル:2V±10% 負荷インピーダンス:10kΩ
	オーディオ出力 （デジタルオーディオ）	出力レベル: 0.5 Vp-p
	ビデオ出力	出力レベル:1Vp-p±20% 負荷インピーダンス:75Ω、不均衡、非極性
電源		DC9V2A
許容動作温度		5～35℃
消費電力		20W以下
寸法		240×157×30 mm
重量		約1.05 kg（バッテリーパックを除く）

付属充電バッテリーパックの使用時間の目安。

DVD再生時、液晶表示 ON	約3時間
DVD再生時、液晶表示 OFF	約5時間

上記仕様は参考値です。また、仕様は改善のため予告なく変更する場合があります。

MEMO

BLUEDOT®

ブルードット株式会社

〒103-0004 東京都中央区東日本橋2-22-2, 1F

TEL: 03-3864-9522 FAX: 03-3864-9519

E-mail : info@bluedot.co.jp

<http://www.bluedot.co.jp>

ブルードットサポートセンター

〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町1-311-1

TEL: 048-662-7784

E-mail : support@bluedot.co.jp